

1 単元の構想

(1) 身に付けさせたい資質・能力および児童の実態

		身に付けさせたい資質・能力	児童の実態
知識・技能	A男	伝えたい事を整理し、正しい言葉遣いで話したり、書いたりする	文字を正確に読んだり書いたりできる。漢字の習得は3年生レベル。
	B子	伝えたい事をまとめ、正しい言葉遣いで伝える	難聴のため聞き取りや発音に不具合があり、文字に書き表す際に支援が必要
	C子	伝えたい事を整理し、正しい言葉遣いで話したり、書いたりする	文字を正確に読んだり書いたりできる。発表する時の言葉遣いも適切で、はっきりと発言できる。
	D男	伝えたい内容を考えて、進んで発表する。	落ち着いて書く時のひらがなの字形は整う。文にするときは、なぞり書き。
思考力・判断力・表現力	A男	伝えたい事の順序を考え、より分かりやすく表現する	集中力に欠ける面があり、じっくりと考えを深めるまでに時間がかかる。
	B子	伝えたい事を、順序立てて発表する	積極的に発表をしたいとの意欲に満ちている。
	C子	伝えたい事の順序を考え、自分の気持ちも入れて、より分かりやすく表現する	事柄の順序を考えたり、考えや気持ちを付け加えたりできる。
	D男	伝えたい内容の順番を決めて、発表する	進んで発言したいという意欲が高い。内容が難解になると意欲がそがれてしまう。
学びに向かう力、人間性等	A男	言葉を使って、自分が経験したことや感じたことを伝える楽しさを感じる	伝えたい意欲があり、はきはきと発言できるが、想像したり、イメージを膨らませたりするのが苦手
	B子	言葉を使って、自分の思いが伝わることの楽しさを感じる	発言をしたい意欲が高い。言葉を選んで自分の思いを伝えようとしている。
	C子	言葉を使って、自分が経験したことや感じたことを伝える楽しさを感じる	自分の気持ちや考えを付け加えて、順序よく伝えようと工夫できる。
	D男	言葉を使って、自分の思いが伝わることを実感する	言語に発達の遅れがあるが、伝えたいことをイメージして、思いを伝えようと積極的に発言できる。

(2) 目標

ようすをわかりやすくつたえるために、表現方法をくふうして発表する

(3) 評価規準

【知識・技能】

- ・伝えたい内容をイメージし、適切な言葉を選んでいる。

【思考力・判断力・表現力】

- ・伝えたい内容を決めて、適切な言葉を選んで表現しようとしている
- ・わかりやすく伝えるためにどうしたらよいか、考えている。

【学びに向かう力、人間性等】

- ・言葉で表現することに意欲的に取り組み、発表したり書いたりしている。

(4) 単元計画および指導方針

時間	指導のねらい				評価項目(評価内容及び評価方法)				【学びの必要性】 なぜこのことを学ぶのか?	伝えたい場面
	A男	B子	C子	D男	A男	B子	C子	D男		
3	日常生活での出来事をふりかえり、友達に伝えたい内容を決めて、わかりやすく伝えるよう表現する。	伝えたい出来事を、進んで発表し、書くことができる。	出来事の様子を、少し詳しく伝えることができる。	伝えたい内容を決めて、進んで発表できる。	伝えたい内容を自分で決めて、進んで発表しようとする	伝えたい事を、言葉にしていおうとしている	自分の気持ちや様子を少しくわしく伝えようとしている	伝えたい事を、言葉にして言おうとしている	日常生活の中の出来事を思い浮かべ、自分の知っている言葉に当てはめて表現することでし、友達に伝える力をつける	自らの日常生活
3	「いつ」「どこで」「だれが」「どうした」の四つの視点から、文を作り、わかりやすく伝えるよう表現する。	四つの視点を意識して、文を作ることができる。	四つの視点を意識して文を作り、少し詳しく表現できる。	絵から考えられることをイメージして、進んで発表することができる。	四つの視点にそって、複数の文を作る	四つの視点にそって、文を作る	四つの視点にそって、工夫して複数の文を作る	自分がイメージした場面を、発表する	文を作ったり、話したりする際に、四つの視点をつかって表現することの良さにふれ、自分の表現に取り入れようとする。	設定された絵より (スーパー、遊園地、教室など)
2	学校生活で経験した共通の活動について振り返り、わかりやすく伝える。	自分で作った文を読み返したり、友だちの表現のよさを感じとったりすることができる。	自分で作った文を読み返したり、友だちの表現のよさを感じとったりすることができる。	一番伝えたいことを、気持ちをこめて表現することができる。	自分の伝えたいことを整理して、わかりやすく発表する	自分の伝えたいことを整理して、発表する	自分の伝えたいことを整理して、わかりやすく発表する	活動を思い出し、意欲的に言語化しようとしている	友達と共通の出来事について、できるだけわかりやすく表現し、お互いの表現のよさを認め合う。	学校行事、集会活動など